

哲學研究

第十卷 第二十二冊

第九十二號

大正十五年十二月一日發行

新刊紹介……………	寺子屋起源論について質疑……………文學士 高橋俊乘	ライブニツツと美學(續)……………文學博士 深田康算	範疇としての空間について(續)……………文學士 戸坂潤	プラトン德論私斷…………………………菊池慧一郎
-----------	---------------------------	----------------------------	-----------------------------	-------------------------

京都帝國大學文學部

京都哲學會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會ス
ルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納
スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌、
『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士
植田	狩野	小西	高坂	小島	澤村	高瀬	田邊	高橋	朝永	中井	西田	野上	波多	深田	藤井	松本	和辻	文學士	文學士	文學士
壽藏	直喜	重直	正顯	祐馬	專太	武次	邊俊	俊乘	三十郎	正一郎	幾多郎	俊夫	精一	康算	治郎	三郎	哲郎	文學士	文學士	文學士

前 號 目 次

直觀知と物自體(承前).....	文學博士	田 邊 元
靜 物.....	文學士	鼓 常 良
デイルタイの心理學的理念の基本的なるものについて(四).....	文學博士	檜 崎 淺 太 郎
問の構造(續).....	文學士	三 木 清
新刊紹介.....		

會 告

- 一、本會 入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
 - 一、會員ニシテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ内外出版株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候
 - 一、會費ハ振替口座大阪〇六六三番、内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 - 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介ノ新刊書寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候
- 京都帝國大學
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

- 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- 振替貯金にて御送金 (振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番) 内外出版株式會社宛に願上候
- 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

價 定

冊	數	定	價	一	郵	稅
一冊	冊	金	四拾	送	金	壹錢
六冊	冊	前金	一	金	貳圓	四拾錢
十二冊	冊	前金	一	金	四圓	八拾錢

廣告料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十五年十一月廿五日印刷納本
大正十五年二月一日發行
第百廿九號 第十一卷
第十二册

不許複製

禁轉載

編輯者 京都帝國大學文學部内

右代表者 京都哲學會

發行者 高橋俊乘

印刷者 須磨勤兵衛

印刷所 須磨勤兵衛

發行所 須磨勤兵衛

印刷所 須磨勤兵衛

發行所 須磨勤兵衛

印刷所 須磨勤兵衛

發行所 須磨勤兵衛

發行所

京都市下京區西洞院七條南 内外出版株式會社

振替口座 大阪三二九五番
東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南入
販賣所 京都市日本橋區本銀町三ノ十四 内外出版株式會社

賣捌所 (東京) 寶文館 東京堂 東海堂
(大阪) 北隆館 上田屋
(神戸) 寶文館 盛文館 參文社
(京都) 共盛社 川瀨書店 大盛社